

読む人の幸せを心に願って作る

喜びの タネまき新聞

No.606

〈花いっぱいプロジェクト〉

ダスキン本社がある大阪・江坂周辺の企業の集まりで、「花いっぱいプロジェクト」という行事があり、その活動に参加しました。

この活動は近隣の小学校の1年生全員で苗床を作って種子を二つずつ植えるという内容で、私も子どもたちと一緒に植えていきました。

スーツ姿の見慣れないオジサンが参加しているので、初めは子どもたちも緊張気味でしたが、一緒に作業をしていくうちにコミュニケーションをとってくれるようになり、和気あいあいと進めることができました。

そして、江坂駅周辺の街路で目にする四季の花の一部は小学生が

育ててくれた花だと教えていただいたのです。子どもたちが、毎日水やりなどをしながら大切に育て、その花が街の美観を保っているのだと思うと、感謝の気持ちとともに、もっと自分たちの街に関心を持たなければと思いました。

ダスキンは創業時より「喜びのタネをまこう」をスローガンとしています。今回の「花いっぱいプロジェクト」はまさに「喜びの花を咲かせ」活動だと思えます。

忙しい時は自分のことだけで精いっぱいになることもあります。地域のお役に立っている活動に参加することは、自分の成長にもつながると感じました。

株式会社ダスキン社長

山村輝治

日光杉並木街道〈栃木県〉

※イラストはイメージです

大切な人への ラブレター



昨年の600号で掲載した「ラブレター特集」では、たくさんのご感想をお寄せいただき、ありがとうございます。予想以上の反響に加えて、その後も素敵なお手紙が全国から届きましたので、今回は「ラブレター特集第2弾」として、愛にあふれたお手紙を厳選してご紹介いたします。

門出の日の晩ご飯

福島県福島市 伊東 朋宏さん

この時期になると、23年前の春を思い出します。北海道の実家を出て、初めての一人暮らし。引越越しには母が付き添ってくれ、荷物整理が一段落した後で一緒にスーパーへ行きました。北海道では見慣れない野菜や魚を見て母は、「これ、どう料理するんだろうね?」と言いなから買い物をして、夕食を作ってくれました。空のダンボールをテーブル代わりにして、缶ビールで乾杯。どんなおかずだったかは思い出せませんが、真新しい食器に白ごはん、味噌汁が不安定な箱の上に並べられた光景は今でも忘れられません。



拓己くん、元気ですか。中学生になって会う機会がめっきり少なくなっただけで、おばあちゃんは今もあなたが大好きです。

私が会いにいくと、「おばあちゃん」と両手を広げ、満面の笑みで駆け寄ってくれたね。2歳のころ私におんぶされながら月を見上げて「出た、出た、月が」と、たどたどしい口調で歌っていたのが、可愛くて可愛くて。背中がほんわかと温かったことを、今も思い出します。



可愛い可愛い、お嫁さんへ

愛知県刈谷市 野々山 充美さん

大病を患い、自力での通院が難しく困っていた時。支えてくれたのは、お嫁さんの明美ちゃんでした。身の回りの世話はおもろろん、私が苦しもうにしていると「辛いよね…」と側で涙を流してくれたり、気が小さい私に寄り添って「大丈夫よ」と励ましてくれたり。周りの人たちには、実の娘と思われていたよかったです。

お陰様で回復し、「もう一人で大丈夫よ」と言っても、今もパートを休んでまで付き添ってくれます。

ありがたくて愛おしくて、神様が与えてくれた宝物のように思っています。



お隣のおばちゃんへ

神奈川県横浜市 吉田 洋子さん

以前、自宅のお隣に住んでいたおばちゃんは、私にとって第二の母のような存在でした。私が小学生のころに遠くに引越されましたが、その後も電話で話を聞いてくれたりと、ずっと愛情を注いでくれました。

今や私は、あの頃のおばちゃんの年齢を超えてしまったし、もうおばちゃんにも会えなくなりました。でも電話をすれば元気な声で出てくれるよ。優しい気にかけています。

おばちゃん、たくさんの愛情をありがとう！



最高のプレゼント

岡山県加賀郡 沼本 照子さん

感動の同窓会

栃木県那須塩原市 人見トヨ子さん

昨年10月、私の卒寿のお祝いに昔の教え子たちが17名も集まってくれました。中には娘さんに車いすを押してもらいながら来てくれた子もいるなど、皆も年を重ねていましたが、私の目には未だに当時の可愛いままの姿に映りました。

母校を見学に行くと、見違えるほど立派な校舎になっていて、まるで浦島太郎のような気持ちに。昔日を懐かしみながら、子どもたちが今日まで立派に生き、集まってくれたことに感謝しました。

来年も再来年も、また皆と会えますように。



夫のチューリップ

兵庫県たつの市 藪田 勝美さん

30年前、私の40歳の誕生日に、照れ屋のあなたは枕元にそっと40本のチューリップの花束を置いてくれましたね。とても嬉しかったです。

あなたが70歳で他界した時、私は秋にチューリップの球根をたくさん植えました。そして今、私もやっと70歳になり、70本のチューリップをあなたにお供えしようと思えました。天候の加減で70本には足りなかったけれど、愛情をこめて育てたので心の中では70本です。お父さん、いつも私たちを見守ってくれて、ありがとう。



大切な人への ラブレター



娘からの手紙

岐阜県岐阜市 角谷 総子さん

先日、次女が結婚式を挙げました。式の最後に両親への感謝の手紙が読まれ、そこには幼い頃のクリスマスが書かれています。いつもケーキとコーヒーにサンタさんへの手紙を添えて、プレゼントを待ちわびながら寝たこと。「そうそう、私がサンタさんになりきって返事を書いたことがあった」と思い出し、他にも誕生日や季節の行事などが様々に思い出されました。

これまで日々に追われながらも毎年行ってきたことは子どもたちの心にちゃんと刻まれていたのだと、母親としてご褒美をもらったような気持ちになりました。



やっぱり 大好きやったとやろう

佐賀県鳥栖市 篠原 正子さん

40年近く同居した義母。あなたのコツコツと杖をつく音や、話しかけてくる声が嫌いでたまらんやった。
漬物の漬け方ひとつにしても、義母は一生懸命教えてくれようとしたのに、なかなか素直に聞けんやったなあ。あまのじゃくな嫁はい。

でも、亡くなって4年以上が経った今でも、「お義母さん、お風呂が沸いたよ」「ご飯ができたよ」と呼びに行こうとしてしまつ私がいる。反発しながらも、教えてもらったことをしっかり記した知恵袋帳。それを見ながら仕込んだ漬物を子どもや孫たちにふるまう度に、「やっぱりお義母さんのこと、大好きやったとやろう」と思う。できることなら、もう一度会って素直にお礼が言いたいです。



母の一言

埼玉県所沢市 角南 尚子さん

ある年の冬、母とお寿司屋さんに行った時のこと。お店を出ると、派手な見た目の高校生たちがたむろしていました。その姿に私は戸惑ってしまつたのですが、母は一人の女の子の頭をなでて「寒いから風邪ひかないようにね」と声をかけたのです。

その子たちも最初はきよとんとしていたものの、「ありがとーおばあちゃんも風邪ひくなよー」と返してくれました。母にとつては何気ない行動だったようですが、私は大切なことを教えてもらった気がしました。ありがとうございます。



春から頑張る息子へ

熊本県熊本市 中元寺 良子さん

息子が、春から都会で一人暮らしを始めることになりました。大学に合格したのは嬉しいけれど、離れ離れになるのは寂しくて、複雑な心境です。

心配性の私に、息子は「電話で話せるでしょ。それにお母さんが笑顔でいてくれないと、俺も安心できないよ。大丈夫、お互い一人じゃないよ」。そう言っ私を抱きしめ、頭をポンポンとしてくれました。

まるで親子が逆転したようでしたが、不思議と嬉しくて温かい気持ちになりました。お互い、元気に頑張ろうね！



燈々無尽

美しい心

ほめ合うことは、すばらしく美しい花です。他の人のよさを見つけ出せる人は、それだけ自分の心も美しい人なのです。夫婦ではめあう、妹が兄をほめる、まして下積みの人が、上役をほめるし、お役目上、上になつてる人が、下積みの苦労してる人をほめる。すばらしい事です。金では買えない愛情を、大切にしよう！

ダスキン創業者 鈴木清一

愛の輪通信 Vol.6

Information Report

研修生レポート② 台湾からの研修生

ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業 第20期研修生 ソ・ナン(蘇楠)さん (肢体不自由 電動車イス使用)

日本に来て体験した、学びや発見をレポートします！



はじめまして。台湾から日本に学びに来たソ・ナンです。台湾と日本の違うところで、最初に思い浮かぶのは交通文化だと思います。両国とも各種の公共交通機関が発達していますが、バイク社会

の台湾では、交通手段としてバイクやスクーターを使う人が非常に多いです。ラッシュ時に街中に無数のバイクが走る光景は、日本ではあまり見られません。もう一つの違いは、日本では当たり前に見かける「温水洗浄便座」。その存在を台湾で見かけるのはほとんどないので、日本に来て実際に使つて驚き、便利だと思いました！



※今回は、日本語を勉強されたソ・ナンさんで本人が執筆されました。(次回へ続く)



愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。☎06-6821-5270 <https://www.ainowa.jp/>

飛田和緒さんの
からだにいい
季節ごはん

早掘りのものが出回り始めた、たけのこ。
旬を長く楽しめる分、風味の変化も味わいたいものです。



可愛らしい早掘りのたけのこは、
小ぶりでアクが少なく、
食べやすいのが特徴です

飛田 和緒(ひだ かずを)さん

料理家。1964年、東京都生まれ。現在は神奈川県でご主人と娘さんの3人で暮らす。身近にある四季折々の食材を使った家庭料理や保存食を基本に、独自のアイデアを盛り込んだ手軽に作れるレシピが人気。2014年に料理レシピ本大賞を受賞し、ベストセラーとなった「常備菜」(主婦と生活社)など著書多数。

春の訪れを告げてくれる、

たけのこに夢中です。

2月から、我が家はたけのこのシーズンに突入します。まずは九州から早掘りのたけのこを取り寄せ、5月の連休頃は地元産を食べます。2月から3月初め

らかな部分は若竹煮や汁物にし、やや硬めの部分は焼き物、煮物、揚げ物などにするのがおすすめです。このアクの強さと

合うのが、山椒の実。私は毎年5月の半ば頃に収穫される山椒の実を佃煮にしたり、塩やしゅうゆ漬けにしたりして、次の年のたけのこ料理に備えています。炙ったたけのこに、しゅうゆ漬けの山椒の実とオリブオイルを合わせたタレをかけた一品は、シンプルだけどおいしい。こちらの素材も時間をかけて調理したものですから味わいも奥深く、春の息吹をストレートに感じられます。

ぐらいの早掘りのものは小ぶりでアクが少ないので、たけのこはんにぴったり。中学生の娘もたけのこはんに目がなくて、年明けごろから「そろそろ、たけのこごはん食べられる？」と聞いてくるほど、心待ちにしています。

3月下旬から4月に入ると、たけのこもぐっと大きくなってきますが、その分アクが強くなります。ですから先端に近い柔



私गतけのこをこんなにも好きになったのは、ご近所の方のおかげです。以前、掘りたてのたけのこをたくさんいただく機会があり、それがきっかけでたけのこのおいしさに目覚めました。それ以来、春になるとお願いして玄関先にたけのこを山積みにおいていただいています。最初は食べ

きれないからと友人たちにおすそ分けしていましたが、どうも歓迎されません。でも、茹でてから差し上げると、「もつとちょうどい！」と言われるんです。ですから、うちではたけのこの山が届くと大鍋を出し、せつせと茹でるのが春の恒例行事。たくさん茹でるとそれだけ扱いにも慣れてきて、そのうち採れた時季によって味わいが違うことも分かります。ますます好きになって今に至るというわけです。

す。串がすつと通るくらいまで柔らかくなったなら、その煮汁に入れたまま冷めます。冷めたら、切り込みを入れた部分からくりりと皮をむいて、水に浸けて一晩おきます。時間をかけてアクを抜いていきますので手間がかかるイメージですが、手順は簡単です。糠がないときは米のとぎ汁でも代用可能。皮を全てむいて茹でたり、皮ごとホイルで包んでオーブンで焼いたり、方法もいろいろあります。



たけのこごはんは、たけのこを存分に味わうため
具はシンプルに。大きめに切ると食感が良い

たけのこの下処理は、まず水煮にします。皮を数枚むいて先端を斜めに切り落とし、切り込みを深く入れ、糠を入れた水と合わせて落とし蓋をして茹でま

これからシーズンを迎える、たけのこ。旬を長く楽しめる分、色々チャレンジしてみるのもいいですね。食卓から春の訪れを感じるのも、楽しいものです。

たけのこごはん



材料 (3~4人分)

- たけのこ水煮 180g
- 油揚げ 1枚
- 米 2合
- 薄口しょうゆ 大さじ1
- 塩 小さじ1/2
- 出汁 360ml

作り方

- 1 たけのこは2~3cmの短冊切りにし、油揚げは油ぬきせず、一枚に開いてから粗みじん切りにする。
- 2 米は研いだ後ザルにあげて10分ほどおき、出汁と合わせて普段どおりの浸水時間をとる。
- 3 調味料を合わせてひと混ぜし、1のをせて炊く。
- 4 十分に蒸らしてから、軽く混ぜて茶碗に盛りつけ、あれば木の芽を添える。



あなたのお便りや写真をお寄せください。

皆さまからお送りいただいたお話をもとに新聞を作っています。どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、お名前、ご年齢、ご職業、ご住所、お電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

- 紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼品をお送り致します。
- お送りいただいた作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

結婚しました!

愛媛県伊予市清本美津子さん



読者の皆さまからお送りいただいた素敵な1枚をご紹介します。

キレイな虹にうっとり



東京都練馬区高橋 民子さん

防寒対策バッチリ



福井県大野市田中 京子さん



みてもらおう!

北海道旭川市沢崎 悦子さん



おいそうなイチゴ♡

福島県いわき市熊谷 ひとみさん



兵庫県丹波市荒閑 温美さん

中之作のつるし雛。手縫の細かさに感動!



No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます。

<https://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



ダスキンスタッフ募集中!

job.duskin.jp

ダスキン お仕事ナビ

検索



株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報はご投稿の掲載や、今後の紙面制作に利用させていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコンタクトセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコンタクトセンター

0120-100100 www.duskin.co.jp

57-13C 2019.03 3703300